

### Ⅲ 試験研究の成果

#### 1 試験研究成果

##### (1)平成30年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理	0	2	0	0	2
2 水稲	2	2	3	0	7
3 畑作物	0	3	0	0	3
4 作業技術	0	0	0	0	0
5 果樹	1	3	0	2	6
6 野菜	0	1	0	0	1
7 花き	1	3	0	4	8
8 生産環境	0	2	0	0	2
9 土壌作物栄養	0	8	0	0	8
10 病虫害制御	0	3	0	0	3
11 乳用牛	0	1	0	0	1
12 肉用牛	1	1	4	3	9
13 中小家畜(豚・鶏)	0	3	0	0	3
14 草地・飼料作物	1	1	0	1	3
15 畜産環境	0	0	0	0	0
16 県北農業振興	0	4	0	2	6
17 震災復興	0	0	0	0	0
[ 計 ]	6	37	7	12	62

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本等に関するもの

(2)平成30年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	H30-普-01	早生糯水稲「めんこもち」の栽培法	作物(県北)
水稲	H30-普-02	飼料用粳水稲「たわわっこ」の栽培法	作物(県北)
果樹	H30-普-03	ぶどう「シャインマスカット」の短梢栽培における適正着果量	果樹(技術)
花き	H30-普-04	鉢花向け青色リンドウ品種「Bzc-1」の育成	野菜花き
畜産	H30-普-05	品種 耐湿性及び収量性に優れるフェストロリウム早生品種「那系1号」及び中生品種「東北1号」	家畜飼養・飼料
畜産	H30-普-06	黒毛和種県産種雄牛「菊勝久」の作出(現場後代検定法)	種山畜産

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	H30-指-01	大規模水田作経営の存立地区における取組実態からみた水路・農道等の保全管理方策	農業経営
農業構造・経営管理	H30-指-02	集落営農組織の課題と法人化に向けた取組方向	農業経営
水稲	H30-指-03	平成30年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物(技術)
水稲	H30-指-04	水稲品種「金色の風」の収量構成要素等	作物(技術)
作物	H30-指-05	フルチアセットメチル乳剤の除草効果と県大豆奨励品種に対する初期薬害	作物(技術)
作物	H30-指-06	平成30年一関遊水地における小麦の冠水被害の実態	作物(技術)
作物	H30-指-07	小麦の融雪期における全量1回追肥法	作物(技術)
水稲	H30-指-08	水稲品種「金色の風」の栄養診断基準の策定	生産環境
水稲	H30-指-09	「金色の風」に適する肥効調節型肥料の配合	生産環境
水稲	H30-指-10	「銀河のしずく」に適する肥効調節型肥料の配合	生産環境
作物	H30-指-11	ダイズ紫斑病の新規防除薬剤の評価(追補)	病理昆虫
土壌作物栄養	H30-指-12	県内水田土壌35年間の施肥管理と化学性の変化	生産環境
土壌作物栄養	H30-指-13	県内畑土壌35年間の有機物施用と化学性の変化	生産環境
作物	H30-指-14	薬用作物(トウキ・センキュウ)におけるレーキ式条間・株間除草機を用いた除草の省力化	作物(県北)
果樹	H30-指-15	りんご「ふじ」着色系統の果実品質	果樹(技術)

分野	成果番号	成果名	担当研究室
果樹	H30-指-16	りんごポット養成フェザー苗育成時におけるかん水の生育向上効果	果樹(技術)
果樹	H30-指-17	りんご鮮度保持剤「1-MCP剤(スマートフレッシュ™)」を利用した「大夢」の貯蔵期間	果樹(技術)
野菜	H30-指-18	トロ箱養液栽培システムにおける養液栽培用肥料の収量性と導入条件	野菜花き
花き	H30-指-19	リンドウ種子の長期貯蔵技術	野菜花き
花き	H30-指-20	リンドウまだら退色症状の発生における品種間差異	野菜花き
花き	H30-指-21	リンドウの定植後ジベレリン処理による生育促進効果	野菜花き
果樹	H30-指-22	りんごにおける補給型施肥基準の検証	生産環境
果樹	H30-指-23	モモシクイガ多発りんご園周辺園地における交信かく乱剤の追加防除効果	病理昆虫
野菜	H30-指-24	ピーマンPMMoV L <sup>4</sup> 打破系統(病原型P <sub>1,2,3,4</sub> )の蔓延と推定される伝搬経路	病理昆虫
花き	H30-指-25	リンドウの適正窒素施肥量	生産環境
花き	H30-指-26	リンドウの補給型施肥による生育への影響	生産環境
花き	H30-指-27	リンドウ切り花の出荷時期調整のための低温管理方法	生産環境
花き	H30-指-28	リンドウ切り花のエチレン感受性と品質保持剤の効果	生産環境
野菜	H30-指-29	加工・業務用途向け寒玉系キャベツの栽培法	園芸(県北)
野菜	H30-指-30	春まきタマネギ栽培におけるネギアザミウマ防除対策	園芸(県北)
野菜	H30-指-31	秋まきタマネギ栽培に適する品種と栽培上の留意点	園芸(県北)
畜産	H30-指-32	ホルスタイン種経産牛への性選別精液深部注入における活動量増加持続時間による人工授精牛の選定と授精適期	家畜育種
畜産	H30-指-33	黒毛和種育成期における高蛋白質飼料が発育等成績に及ぼす影響	家畜育種
畜産	H30-指-34	飼料用米を活用したパークシャー種肥育後期用配合飼料における収益性	家畜育種
畜産	H30-指-35	パークシャー種肥育後期用配合飼料における栄養バランスによる背脂肪厚及び日増体量の推定	家畜育種
畜産	H30-指-36	飼料用米ソフトグレインサイレージ配合飼料の南部かしわへの給与による低コスト生産と美味しさの向上技術(追補)	家畜育種

分野	成果番号	成果名	担当研究室
畜産	H30-指-37	電気牧柵を用いた蹄耕法による草地更新技術	外山畜産

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	H30-行-01	平成31年度水稲奨励品種決定調査予備調査に新たに供試する「岩手137号」「岩手138号」「岩手139号」「岩手140号」	作物(技術)
水稲	H30-行-02	平成31年度水稲奨励品種決定試験調査本調査・現地調査新規供試系統	作物(技術)
水稲	H30-行-03	平成30年度水稲奨励品種決定調査本調査・現地調査結果	作物(技術)
畜産	H30-行-04	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
畜産	H30-行-05	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
畜産	H30-行-06	黒毛和種産肉能力検定(直接法)	種山畜産
畜産	H30-行-07	黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
作物	H30-研-01	レーキ式条間・株間除草機における使用方法の判断指標作成に向けた「引抜抵抗値」の活用	作物(県北)
作物	H30-研-02	平成30年度アワ育成系統	作物(県北)
果樹	H30-研-03	川砂施用によるりんご苗の初期生育促進効果	果樹(技術)
果樹	H30-研-04	りんご育成系統「岩手15号」、「岩手16号」、「岩手17号」、「岩手18号」の果実特性	果樹(技術)
花き	H30-研-05	リンドウの主茎節位に着目した株の初期形態形成とジベレリン処理の影響	野菜花き
花き	H30-研-06	リンドウの花芽分化と側芽発生には早晩性によって関連がみられる	野菜花き
花き	H30-研-07	リンドウ花卉の着色異常(日焼け花)発生実態と遺伝的素因が及ぼす影響	野菜花き
花き	H30-研-08	リンドウ新栽培法の検討	野菜花き
畜産	H30-研-09	人工哺育を行った日本短角種去勢牛の育成期における飼料給与例	外山畜産
畜産	H30-研-10	日本短角種の双子生産率に関連する遺伝的要因の解析	家畜育種
畜産	H30-研-11	反芻モニタリングと補助飼料を活用したケトosis発症予防技術	家畜飼養・飼料
畜産	H30-研-12	黒毛和種における枝肉形質が価格に及ぼす効果	種山畜産

## 2 追跡評価

### ○平成30年度追跡評価の概要

#### (1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

#### (2) 追跡評価の調査方法

##### ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成27年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(1,147成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

A:(現在でも)有効

B:目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)

C:後年度の成果に反映(更新)

D:無効(Bの概念に含まないもの)

##### イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

a 平成27年度に公表した「普及」区分の研究成果(6成果)

b 平成27年度に公表した「指導」区分の研究成果(19成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施

① 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)

※ 農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象

② 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)

③ いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

④ 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

① 評価調書による調査:成果毎に調査対象者\*1を定め、評価調書による調査を依頼

※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

a 評価調書による調査:成果毎に調査対象者を定め、評価調書による調査を依頼

※ 調査対象は、中央農業改良普及センターの協力を得て選定

#### (3) 追跡評価の結果

##### ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

評価区分	成果数
A	925
B	176
C	41
D	5
合計	1147

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 「普及区分」

a 自己評価

該当なし

※平成27年度に公表した普及区分の6成果のうち、次の2成果は自己評価の対象であるが、普及見込面積の目標が種子供給開始(H29)から5年後の栽培面積に設定されているため、平成33年度に追跡評価を行うこととする。

課題名	農家への普及状況	成果活用による効果
(H27-普-04)8月上中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてEB-2号」の育成	—	—
(H27-普-05)8月中旬開花の切り花向け青色リンドウF1品種「いわてMB-2号」の育成	—	—

注1) 農家への普及状況 A(目標の75%)、B(目標の50%から75%)、C(25%から50%)、D(25%未満)、-(目標値なし)

注2) 成果活用による効果 A(大いにあった)、B(あった)、C(あまりなかった)、D(なかった)

b 生産者による評価

課題名	成果の活用
水稲新品種「銀河のしずく」の高品質・良食味米安定栽培法	2.3
りんご「大夢」の収穫適期判断	2.0
アスパラガス伏せ込み促成栽培における高温を利用した休眠打破技術	1.0
生育速度の速い草種を併用した放牧地の春期草地更新技術	1.7

注) 成果の活用は「よく活用」を3、「たまに活用」を2、「活用機会がない」を1、「活用できない」を0として加重平均した。

(イ) 「指導区分」

b 農業改良普及センターによる評価

課題名	指導効果等の向上
中小区画ほ場における小型汎用コンバインの導入条件	2.3
超強力小麦「銀河のちから」の高品質安定栽培法	3.7
平成27年岩手県産水稲の生育経過の特徴と生育・品質に影響した要因の解析	3.0
岩手県の津波被災農地における水田雑草「コウキヤガラ」発生の確認	3.0
大豆の補給型施肥による生育および収量	1.7
津波被災後の復旧水田における水稲の生育及び収量向上事例	3.0
アワ品種「ゆいこがね」の収穫適期	2.3
りんご品種「トキ」の栽培特性	4.0
ヒオモン水溶剤によるりんご「ふじ」の裂果軽減効果と使用上の留意点	3.0
ぶどう短梢栽培用平棚における「エーデルロツソ」の仕立法	2.5
ブルーベリー栽培における有機質資材の利用法(追補)	2.3
りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法(追補)	3.3
ミニマトの露地疎植栽培に適した誘引法(追補)	3.0
地域木質資源を用いた木質製園芸ハウス	3.0
たまねぎ春まき作型におけるアザミウマ被害実態と有効薬剤	3.7
春期牧草播種技術と秋の追播による植生改善技術	3.5
耕起困難及び耕起不能採草地における利用再開後の施肥管理	3.3
希塩酸抽出法によるイネ科主体乾草のミネラル測定	3.5
県内パークシャー種豚能力改良システムの構築	2.5
パーコール濃度15%のPBS 溶液による胚の品質評価	0.0

注) 指導効果等の向上は「大いに向上した」を4、「向上した」を3、「あまり向上しなかった」を2、「向上しなかった」を1、未回答を0として加重平均した。

### 3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

#### (1) 研究成果数

推進部会名	畜産飼料作	野菜花き	果樹	計
研究成果数	1	3	1	5

#### (2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
畜産飼料作	「日本短角種」親子牛群を用いた蹄耕法による草地更新技術	研究	外山畜産
野菜花き	リンドウ種子は冷凍貯蔵により10年間発芽率を維持できる	普及	野菜花き
	リンドウ花卉の着色異常の発生には遺伝的素因が大きく関与している	研究	野菜花き
	エゾリンドウにおける越冬芽数と塊茎数との関係	研究	野菜花き
果樹	リンゴポット養成フェザー苗育成時におけるかん水の生育向上効果	研究	果樹

